

(23)

PS687/JAF

35 F 52

日本國政府

實用新案公報

實用新案出願公告

昭26-296

公告 昭 26.1.22 出願 昭 24.7.4 實願 昭 24-10185

出願人 考案者 山 内 貞 清 東京都大田區調布橋ノ木町804

複式壓力菓子焼機

圖面の略解

第1圖は本機の正面右側操作圖、第2圖は同左側操作圖、第3圖は平面圖を示す、圖中同一符號は同一部を示すものとす。

實用新案の性質、作用及效果の要領

本案は機枠の上部案内鉄6の中央部に移動重錘2を有する操作ハンドル1の基部を抵着し其の基部兩端に挺子3,3の端に穿てる長孔を軌着し他端を機枠に抵着し該挺子3,3の中央部には下端に壓着鉄5,5を有する壓着桿4,4の上部を軌着し該機型7,7を機枠下部の機型受鉄8,8上に設置せる構造に係り第1圖、第2圖に示す如く操作ハンドル1を左右に動かす事により挺子3,3を交互に上下運動をさせると共に機型7,7の蓋を壓着桿4,4にて壓着

し尙重錘2の移動により任意の壓力を得んとするなり本案は従来のポン酢餅焼の如く操作複雑にして機型1個なるため能率小なるを、操作簡單にして2個の機型を有し交互に使用する事により燃料の節約及び能率大ならしむる事を得る特徴を有するものなり

登録請求の範圍

圖面に示す如く機枠上部案内鉄6の中央部に移動重錘2を有する操作ハンドル1の基部を抵着し其の基部兩端に挺子3,3の端に穿てる長孔を軌着し他端を機枠に抵着し挺子3,3の中央部には下端に壓着鉄5,5を有する壓着桿4,4の上部を軌着し機型7,7を機枠下部の機型受鉄8,8上に設置してなる複式壓力菓子焼機の構造

第1圖

